

政務活動実施報告書

令和8年4月13日

村上市議会議員 三田 敏秋 様

会派名 鷺ヶ巣会
代表者名 大滝 国吉



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

| | 経理責任者氏名 | 鈴木 いせ子 |
|-------------|--|--------|
| 用 務 名 | 先進地視察 ①小規模特認校制度について ②消防団参集アプリについて ③道の駅の運営について | |
| 実 施 日 時 | ①令和8年2月4日（水） 午前 10時00分 ～ 午前 11時30分 ②令和8年2月4日（水） 午後 2時30分 ～ 午後 4時00分 ③令和8年2月5日（木） 午前 10時00分 ～ 午前 11時00分 | |
| 用 務 先 | ①福島県会津若松市（大戸小学校） ②福島県須賀川市 ③福島県湯川村 道の駅あいづ湯川・会津坂下 | |
| 参 加 議 員 名 | 鷺ヶ巣会 大滝国吉、鈴木いせ子、山田 勉、河村幸雄 至誠クラブ 渡辺 昌、富樫雅男、三田敏秋 | |
| 全 体 参 加 者 数 | 7 名 | |
| 概 要 及 び 所 見 | ※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙のとおり | |
| 備 考 | | |



【政務活動実施報告書】概要及び所見

①小規模特認校制度について（福島県会津若松市（大戸小学校））

本市と同じく会津若松市でも児童数の減少の影響により、学校統廃合を進める中で大戸地域においては地域の人たちと検討を重ねる中で、「少人数を生かしたきめ細やかな指導」「地域の特色ある教育活動に共感する児童・生徒を多く受け入れたい」との要望を受けて、小規模特認校制度の導入に至ったそうです。

大戸小学校と大戸中学校がそれぞれ小規模特認校として、従来の学区以外にも会津若松市内から受け入れを行っていますが、入学後のギャップ解消のためにも事前の体験入学や学校見学を推奨し、同校で卒業まで安心して就学できるよう努めていました。実際に授業の様子や校内も見学させていただきましたが、自然豊かな環境の中で子どもたちが伸び伸びと生活している姿が印象的でした。導入の経緯でもそうですが、地域の人たちの思いが支えとなった学校運営のようです。

本市においても小学校、中学校それぞれの統廃合だけでなく、地理的な要素などから小中が連携したこのような取組の検討も必要なのではないかと改めて認識しました。

②消防団参集アプリについて（福島県須賀川市）

須賀川市では従来の縦型の連絡網では災害などの際の団員招集に時間を要することが課題となっていたそうで、また、サラリーマン団員が増える中で管轄隊以外の水利状況に不慣れな応援隊が先着した場合の消火作業にも課題があったそうです。

そこで当時の団員の中でシステムエンジニアの人がいたこともあり、現場の課題を整理し、それらに対応できるように団員がアイデアを出し合い、現在のアプリを開発したそうです。スムーズな出動連絡のほか、出動団員のとりまとめも容易になり、水利情報も地図上で見えるようになり、簡単でわかりやすいものでした。

本市の消防団の中には電話だけでなく、既存のアプリなどを有効に使いながら対応している人たちもいるようですが、いずれの取り組みでも団員減少や職業の多様化などが進む中で有事の際の活動がスムーズに行えるように、かつ団員の負担が軽減されるようなものが重要だと感じました。

③道の駅の運営について（道の駅あいづ湯川・会津坂下）

道の駅 あいづ湯川・会津坂下は「人の駅・川の駅・道の駅」拠点整備事業として、湯川村と会津坂下町が中心となり、郡山国道事務所、阿賀川河川事務所、福島県会津若松事務所が連携し整備してきたもので、平成26年10月から供用開始となった施設です。主な施設は道路情報などの情報発信施設、農産物や物産品の販売スペース、農家レストランでいわゆる道の駅の基本的な機能を兼ね備えた施設ですが、情報発信施設には会津中央病院の予約端末が設置されており、道の駅から外来受診受付ができることは驚きました。来訪者への情報発信や利用はもちろんですが、地元の人たちの利用にも繋がる取り組みだと思います。国道49号及び県道、一級河川阿賀川が交差する橋のたもとにあり、交通の要所としてだけでなく、災害時には活動拠点として重要な施設となっているそうです。

本市の道の駅朝日のリニューアルに当たっても、外からの来訪者のためだけでなく、地元の人たちの利用促進に繋がる仕掛けが重要だと再認識し、ぜひそういった視点からも整備を進めてもらいたいと感じました。